

カンショ茎葉サイレージの品質は良好であり 黒毛和種繁殖雌牛に利用できる

鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場は、カンショの副産物であるカンショ茎葉のサイレージ調製・給与試験を行い、飼料成分組成・発酵品質、採食性及び栄養価を明らかにしました。これまで、鹿児島県でのカンショ茎葉の利用率は8%程度と、ほとんど利用されていない状況にありましたが、今回の技術により、カンショ茎葉は粗飼料の代替品として利用できることが示されました。

☆ 技術の概要

1. カンショ茎葉サイレージの飼料成分は、粗蛋白質は1番草出穂期のイタリアンサイレージ、ADF 及び NDF は再生草開花期のアルファルファサイレージと同程度でした（表）。
2. 細断型ロール調製したカンショ茎葉サイレージ発酵品質の評価は可～良で、BP（ビートパルプ）を5%添加することで、発酵品質が改善されました。スタックサイロ調製したサイレージの発酵品質は、BP 添加区が最も良くなりました。
3. 黒毛和種繁殖雌牛および緬羊による消化試験から求めたカンショ茎葉サイレージのTDNは、茎葉単体サイレージで48%でしたが、BP やフスマを5～10%添加することで9～18ポイント向上しました。また、各成分消化率についても、8～29ポイント向上しました（表）。
4. 黒毛和種繁殖雌牛によるカンショ茎葉サイレージの採食量は、細断ロール調製区では茎葉単体よりBP 添加サイレージが有意に高まりました（表）。

表 カンショ茎葉サイレージの飼料成分組成、消化率およびTDN含量

	飼料 成分			供試 家畜	消化率				乾物中 TDN含量	乾物 摂取量
	CP	ADF	NDF		乾物	有機物	CP	NDF		
茎葉S	11.8	39.6	45.6	牛	50	51	38	41	48	4.66 a
BP5%添加S	12.4	35.8	45.6	牛	59	59	47	55	57	5.50 b
BP10%添加S	10.5	36.0	45.0	牛	69	71	46	70	66	6.08 c
BP20%添加S	10.7	34.0	46.2	緬羊	70	73	49	67	68	
フスマ10%添加S	12.8	28.7	41.4	緬羊	59	59	59	43	59	
スタック茎葉S	11.8	43.8	47.6	緬羊	49	49	35	44	48	

注1) スタック茎葉S（サイレージ）以外は細断ロール調製S

注2) 飼料成分は乾物中%

注3) 副資材BP（ビートパルプ）およびフスマの混合割合は現物比

注4) 乾物摂取量（kg/頭/日）は異符号間で有意差あり（ $p < 0.05$, Tukey法）

☆活用面での留意点

カンショ茎葉サイレージを給与する際、飼料設計時の資料として活用できます。カンショ茎葉への残留農薬については、現在データ蓄積中であるため、給与する際は分析し、残留のないものを給与するようにします。詳細は、鹿児島県農業開発総合センター畜産試験場（TEL:0995-48-2121）にお問い合わせください。